

令和3年度(令和2年度繰越含む) 新型コロナ臨時交付金事業 効果検証シート

評価区分	評価内容
A	計画どおり実施し、期待した効果が十分に得られた。
B	計画に遅延等の一部変更があったが、期待した効果は概ね得られた。
C	計画どおり実施したが、期待した効果は十分ではなかった。
D	実施したが、期待した効果が得られなかった。

※実施評価は、事業課で実施した評価内容を記載しています。
 ※千円未満は四捨五入で処理しています。
 ※事業NO.は実施計画書の番号であり、最終的に交付金を充当した事業のみ掲載しているため、通し番号となっています。

事業NO	予算科目	款	2	項	1	目	6	所管課	企画財政課	実施期間	R2.10	～	R3.5	評価検証	
														事業名称	総事業費(交付金充当額)
19	事業名称	行政情報メール・アプリ配信事業(R2繰越)						総事業費(交付金充当額)	4,345 (4,300)	千円	検証方法	その他			
		経済対策との関係	①-I-6. 情報発信の充実	地域未来構 想との関係	④行政IT化							具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	登録者数	
	概要		①現在、自治組織を通じて手配りしている広報誌や回覧板、全戸配布チラシ等の行政情報の提供について、配布時の感染リスクや3密を回避、情報提供の迅速化を目的にメール、スマホアプリ配信システムを構築し、非接触による情報提供手段を確保する。 ②サービス利用可能な環境をもつ村民等						① 行政情報メール配信構築委託	440	評価指標	無			
		①目的・効果 ②事業の対象							② LINE連携構築委託	3,905	評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
									A		【実績】行政情報メール運用開始(R3.4)、LINE連携運用開始(R3.9)、R4.3未登録者数450人、広報あさひむら、あさひ回覧板、朝日村HPでの登録促進PR 【評価】非接触型の行政情報伝達手段の確立ができ、感染リスクの低減が図られた。				
25	事業名称	小学校感染対策施設改修事業(R2繰越)						総事業費(交付金充当額)	19,690 (19,660)	千円	検証方法	感染症発生件数			
		経済対策との関係	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	地域未来構 想との関係	①3密対策							具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	施設利用継続(学習機会の確保、児童の安心・安全)	
	概要		①3密対策として廊下(プレイルーム)を活用した授業実施、30秒程度の手洗いの徹底等により感染リスクの低減及びコロナ疑いの児童を引渡しまでの間一時隔離するための空間整備を行い施設使用の安全・安心の確保を図る。 ②小学校						① 手洗い場増設工事	16,280	評価指標	施設内クラスター発生件数0件			
		①目的・効果 ②事業の対象							② プレイルーム建具設置	2,750	評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
									A		【実績】教室空間の拡張、普通教室棟など4箇所到手洗い場増設、隔離静養室を設置。学校施設クラスター発生0件、こまめな手洗の実施。 【評価】3密回避、感染予防行動を促し学習機会の継続、安心・安全な学校環境の確保が図られた。				
48	事業名称	小学校トイレ自動水栓化工事(R2繰越)						総事業費(交付金充当額)	17,765 (17,490)	千円	検証方法	感染症発生件数			
		経済対策との関係	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	地域未来構 想との関係	②いずれも該当しない							具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	施設利用継続(学習機会の確保、児童の安心・安全)	
	概要		①学校施設環境改善交付金事業で実施しているトイレ改修工事に併せ、接触による感染予防対策強化として、トイレ内の手洗い自動水栓化工事を行い、施設使用の安全・安心の確保を図る。補助事業と並行して実施する村単独事業。 ②小学校						① トイレ自動水栓化工事	17,270	評価指標	施設内クラスター発生件数0件			
		①目的・効果 ②事業の対象							② 設計監理委託料	495	評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
									A		【実績】普通教室棟など9箇所のトイレ自動水栓化。施設内クラスター発生件数0件 【評価】児童の手洗い時の水栓器具への非接触化による感染防止が図られた。				

令和3年度(令和2年度繰越含む) 新型コロナ臨時交付金事業 効果検証シート

事業NO	予算科目	款	3	項	2	目	3	所管課	教育委員会	実施期間	R3.1	～	R3.5	評価検証	
	事業名称	保育園保育室改修事業(R2繰越)							総事業費 (交付金充当額)	11,550 (10,300)	千円	検証方法	感染症発生件数		
49	経済対策との関係	①-I-1. マスク・消毒液等の確保		地域未来構 想との関係		②いずれも該当しない		具体的な実施内容(主な上位5つ)		事業費(千円)	① 工事費	10,560	評価指標	施設内クラスター発生件数0件	
	概要	①保育園未満児の密を避けるため、既存の部屋にアコーディオンカーテンを設置し仕切りを設け、0歳児の利用が多くなることから、未満児室を増設し施設使用の安全・安心の確保を図る。 ②保育園							② 設計監理業務	990	評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
①目的・効果 ②事業の対象									③		A	【実績】施設改修による感染予防の実施。施設内クラスター発生件数0件			
									④			【評価】3密回避など、コロナ禍における保育環境の確保が図られた。			
									⑤						
事業NO	予算科目	款	10	項	4	目	2	所管課	教育委員会	実施期間	R3.2	～	R3.5	評価検証	
	事業名称	文教・社会体育施設自動水栓等改修工事(R2繰越)							総事業費 (交付金充当額)	1,348 (1,347)	千円	検証方法	感染症発生件数		
51	経済対策との関係	①-I-1. マスク・消毒液等の確保		地域未来構 想との関係		②いずれも該当しない		具体的な実施内容(主な上位5つ)		事業費(千円)	① 自動水栓化工事	1,348	評価指標	施設内クラスター発生件数0件	
	概要	①接触による感染予防対策として、水道蛇口の自動水栓化工事を行い、施設使用の安全・安心の確保を図る ②中央公民館、トレセン、図書館、美術館、グラウンドトイレ、子育て支援センター							②		評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
①目的・効果 ②事業の対象									③		A	【実績】自動水栓化6箇所。施設クラスター感染件数0件。			
									④			【評価】施設利用者の手洗い時の水栓器具への非接触化による感染防止が図られた。			
									⑤						
事業NO	予算科目	款	2	項	1	目	1	所管課	総務課	実施期間	R3.4	～	R3.5	評価検証	
	事業名称	役場感染症対策用品購入事業							総事業費 (交付金充当額)	797 (643)	千円	検証方法	感染症発生件数		
1	経済対策との関係	①-I-1. マスク・消毒液等の確保		地域未来構 想との関係		②いずれも該当しない		具体的な実施内容(主な上位5つ)		事業費(千円)	① 脇机	643	評価指標	施設内クラスター発生件数0件	
	概要	①消毒等の感染予防対策の徹底、行政機能の維持を目的として執務室の職員間に脇デスクを配置しデスク間の隔離確保による飛沫感染防止及び、書類収納力を高めた分散収納により、接触機会の低減による感染対策、平時の施設除菌対策による感染リスクの低減を図る ②役場執務室							② 消毒用アルコール	127	評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
①目的・効果 ②事業の対象									③ 消毒用タオル	14	A	【実績】執務室内の職員隔離確保、除菌対策の充実強化。施設内クラスター発生件数0件			
									④ 消毒用手袋	13		【評価】行政機能の継続、目に見える感染対策により、職員及び来庁者の安心・安全な空間確保が図られた			
									⑤						
事業NO	予算科目	款	4	項	1	目	3	所管課	住民福祉課	実施期間	R3.9	～	R4.3	評価検証	
	事業名称	小児等インフルエンザ予防接種費用助成事業							総事業費 (交付金充当額)	631 (400)	千円	検証方法	申請実績(申請率)		
2	経済対策との関係	①-I-1. マスク・消毒液等の確保		地域未来構 想との関係		②いずれも該当しない		具体的な実施内容(主な上位5つ)		事業費(千円)	① 補助金	631	評価指標	申請率の推移で対策普及を確認 目標申請率 30%	
	概要	①新型コロナ感染症とインフルエンザの判別が難しいことや、同時に罹患すると重症化する恐れがあるため、インフルエンザ予防接種費用の助成を行うことで、接種の促進を図り、感染症の蔓延防止、住民の安全・安心を確保する。 ②小児、妊婦(個人への補助)							②		評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
①目的・効果 ②事業の対象									③		A	【実績】インフルエンザ費用助成者333名(申請率28.1%)			
									④			【評価】目標申請率に対して、90%以上の申請率を達成できた。新型コロナウィルス感染症とインフルエンザの同時感染もなく、小児・妊婦の安全・安心が確保された。			
									⑤						

令和3年度(令和2年度繰越含む) 新型コロナ臨時交付金事業 効果検証シート

事業 NO	予算科目	款	4	項	1	目	3	所管課	住民福祉課	実施期間	R3.4 ~ R3.12	評価検証		
	事業名称	PCR検査等費用助成事業							総事業費 (交付金充当額)	100 (100)	千円	検証方法	申請実績(申請率)	
	経済対策との 関係	②-I-2. PCR検査・抗原 検査の体制整備		地域未来構 想との関係		②いづれも該当しない		具体的な実施内容(主な上位5つ)		事業費(千円)	(その他の場合)	申請率の推移で対策普及を確認		
								① PCR検査費用の助成		100	選定根拠	目標申請件数 10件		
3	概要	①PCR検査、抗原定量検査の自費診療費用を助成することにより、住民の日常生活を営む上での不安解消と感染拡大防止を図る。 ②65歳以上の高齢者、基礎疾患のあるもの、村外に住む学生							②			B	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)	
	①目的・効果 ②事業の対象								③				【実績】PCR検査実施者(申請件数) 5件	
									④				【評価】潜在的な対象者数が不明だが、申請した方全員への助成を実施。村外に住む学生が、安心して帰省することができ、感染拡大防止も図れた。	
									⑤					
事業 NO	予算科目	款	3	項	2	目	3	所管課	教育委員会	実施期間	R3.5 ~ R4.2	評価検証		
	事業名称	保育園感染症対策用品購入事業							総事業費 (交付金充当額)	351 (350)	千円	検証方法	感染症発生件数	
	経済対策との 関係	①-I-1. マスク・消毒液等 の確保		地域未来構 想との関係		②いづれも該当しない		具体的な実施内容(主な上位5つ)		事業費(千円)	(その他の場合)	施設利用継続(園児の受入、安心・安全)		
								① 消毒用アルコールタオル		111	選定根拠	施設内クラスター発生件数0件		
4	概要	①園内の感染予防、園児・保護者の安心・安全を図る目的として感染対策用品を整備する。 ②保育園							②	手指消毒液	90	A	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)	
	①目的・効果 ②事業の対象								③	ステンレスキッチンワゴン	67		【実績】感染対策品整備による感染予防の実施。施設内クラスター発生件数0件	
									④	アルコール噴霧器	54		【評価】園児の保育環境の安心・安全が図られた。	
									⑤	使い捨て手袋	29			
事業 NO	予算科目	款	10	項	1	目	2	所管課	教育委員会	実施期間	R3.5 ~ R4.1	評価検証		
	事業名称	朝日村学生応援商品券配布事業							総事業費 (交付金充当額)	3,241 (2,785)	千円	検証方法	利用実績	
	経済対策との 関係	①-II-4. 生活に困っている 世帯や個人への支援		地域未来構 想との関係		②いづれも該当しない		具体的な実施内容(主な上位5つ)		事業費(千円)	(その他の場合)	商品券利用実績により事業効果を確認		
								① 給付金		2,958	選定根拠	換金率 100%		
8	概要	①コロナ禍による学生の生活環境は生活費収入(親の仕送り、アルバイト収入)が減少し苦しい状況が未だ続いており、引き続き学生の生活・学業を応援するべく18歳以上(高校生を除く)の学生等の申請者に対して、村内店舗で使える商品券を配布する。併せて地域支援に繋げ経済対策とする。 ②学生(大学生、短大生、専門学生(専修・高専含む)、進学を目的とした予備校生)又はその保護者							②	商品券印刷	239	A	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)	
	①目的・効果 ②事業の対象								③	郵送料	44		【実績】申請件数100件(換金率98.6%)	
									④				【評価】学生への経済的支援として、多くの学生に給付することができた。	
									⑤					
事業 NO	予算科目	款	10	項	2	目	1	所管課	教育委員会	実施期間	R3.5 ~ R3.6	評価検証		
	事業名称	小学校水泳授業再開対応事業							総事業費 (交付金充当額)	2,097 (2,097)	千円	検証方法	その他	
	経済対策との 関係	①-I-1. マスク・消毒液等 の確保		地域未来構 想との関係		①3密対策		具体的な実施内容(主な上位5つ)		事業費(千円)	(その他の場合)	水泳授業の実施		
								① 通路設置工事		1,738	選定根拠	学習機会の確保		
9	概要	①昨年度はプール更衣室での3密対策が取れないため水泳授業が行えなかった。水泳授業の再開に向けて環境整備を行う。新たな更衣室をプール施設外に設置し、新更衣室からプールまでの屋外通路の整備、新更衣室における用品の整備を行う。 ②小学校							②	滑り止めマット購入	359	A	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)	
	①目的・効果 ②事業の対象								③				【実績】水泳授業の実施(コロナ影響による水泳授業中止0日)	
									④				【評価】コロナ感染対策が図られ、児童が安心して水泳の授業を実施でき学習の保障がされた	
									⑤					

令和3年度(令和2年度繰越含む) 新型コロナ臨時交付金事業 効果検証シート

事業NO	予算科目	款	10	項	5	目	2	所管課	教育委員会	実施期間	R3.6	～	R3.7	評価検証	
	事業名称	スポーツ施設感染対策事業							総事業費 (交付金充当額)	1,030 (1,028)	千円	検証方法	感染症発生件数		
10	経済対策との関係	①-I-1. マスク・消毒液等の確保		地域未来構 想との関係	①3密対策			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① ベンチ購入(16基)	604	評価指標	施設利用継続(感染対策強化、利用者の安心・安全)		
	概要	①屋外スポーツ施設利用者の3密回避を目的とした環境整備としてベンチとテントを購入し、待機スペースの拡張を行い、感染予防対策を図る。 ②運動広場グラウンド・テニスコート							② テント購入(4基)	426	評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
①目的・効果 ②事業の対象								③			A	【実績】施設利用者の分散。施設クラスター感染件数0件。			
							④			【評価】施設利用者の休憩時等、3密が回避され感染予防が図られた。					
							⑤								
事業NO	予算科目	款	7	項	1	目	2	所管課	産業振興課	実施期間	R3.5	～	R3.7	評価検証	
	事業名称	テレワーク支援座談会事業							総事業費 (交付金充当額)	418 (418)	千円	検証方法	アンケート調査		
11	経済対策との関係	①-IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速		地域未来構 想との関係	⑬リビングシフト			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① 委託料	418	評価指標	参加者の事業評価で効果を確認		
	概要	①ウィズコロナでテレワークやリモート化が進み新たな働き方が進むなか、コロナ禍の影響による失職者や育児中の女性を対象としてテレワークに関する座談会を実施。この座談会を通し、実際に移住先や地方でテレワークをしている人から在宅ワーク、テレワークについて聴き、村でテレワークを活用した働き方を認知するきっかけづくりの機会とする ②住民							②			評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)		
①目的・効果 ②事業の対象								③			A	【実績】説明会&座談会 2回開催 参加者10名、朝日村HPやチラシを作成し参加者を募集			
							④			【評価】在宅ワーク等の知識向上が図られ、感染リスクの回避ができる新たな働き方の推進が図られた。					
							⑤								
事業NO	予算科目	款	7	項	1	目	2	所管課	産業振興課	実施期間	R3.9	～	R4.1	評価検証	
	事業名称	在宅ワークスキルアップ支援事業							総事業費 (交付金充当額)	1,500 (1,500)	千円	検証方法	アンケート調査		
12	経済対策との関係	①-IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速		地域未来構 想との関係	⑬リビングシフト			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① 委託料	1,500	評価指標	参加者の事業評価で効果を確認		
	概要	①テレワーク支援座談会事業により、テレワークに関心を高めた住民等が、テレワークによるオンライン事務をはじめ、ビジネス全般において資料作成などで活躍できるスキルの習得を目指す ②住民							②			評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)		
①目的・効果 ②事業の対象								③			A	【実績】在宅ワーク基礎スキル講座 6回開催 参加者2名(内就職者2名)			
							④			【評価】基礎講座の充実を図り、2名の参加者をテレワークの仕事に繋げることができた。					
							⑤								
事業NO	予算科目	款	7	項	1	目	2	所管課	産業振興課	実施期間	R3.7	～	R4.1	評価検証	
	事業名称	テイクアウトマルシェ支援事業							総事業費 (交付金充当額)	500 (500)	千円	検証方法	利用実績		
13	経済対策との関係	①-III-2. 地域経済の活性化		地域未来構 想との関係	⑳いずれも該当しない			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① 補助金	500	評価指標	参加事業者数で効果を確認		
	概要	①コロナ禍の外出自粛等による村内飲食事業者等の利用機会減少のなか、事業者等が新たな機会創出として実施するテイクアウトマルシェ開催に係る経費を支援し、新たな機会の継続・定着を促進する ②テイクアウトマルシェ実行委員会							②			評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)		
①目的・効果 ②事業の対象								③			A	【実績】1回開催、村内出店者8店舗、来場者数約100名。補助金を活用したイベント機材の調達(テイクアウト用容器、テント等)、イベント広告費			
							④			【評価】コロナ禍で影響を受ける飲食事業者が、テイクアウトによる感染リスク低減による新たな営業方法の確立が図られた。					
							⑤								

令和3年度(令和2年度繰越含む) 新型コロナ臨時交付金事業 効果検証シート

事業NO	予算科目	款	7	項	1	目	2	所管課	産業振興課	実施期間	R3.6	～	R4.1	評価検証	
	事業名称	朝日村コロナウイルス対策特別資金支援事業							総事業費 (交付金充当額)	992 (990)	千円	検証方法	利用実績		
14	経済対策との関係	①-Ⅱ-2. 資金繰り対策		地域未来構 想との関係	②いずれも該当しない			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① 保証料補給金	992	評価指標	利用者数で支援効果を確認		
	概要	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者へ融資を行い事業の安定経営を支援する。(運転資金・設備資金) ②売上高が前年同期比5%以上減少した事業者で、セーフティネット保証制度4号若しくは5号に基づく認定企業又は危機関連保証認定企業							②			評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)		
①目的・効果 ②事業の対象									③			A	【実績】申請者5件、コロナ影響による村内倒産件数0件 【評価】コロナ禍で影響を受ける事業者の、事業継続に向けた支援が図られた。		
									④						
									⑤						
事業NO	予算科目	款	7	項	1	目	2	所管課	産業振興課	実施期間	R3.5	～	R4.1	評価検証	
	事業名称	朝日村地域活性化商品券配布事業							総事業費 (交付金充当額)	45,024 (45,023)	千円	検証方法	利用実績		
15	経済対策との関係	②-Ⅱ-9. 家計の暮らしと民 需の下支え		地域未来構 想との関係	⑨商品券・旅行券			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① 委託料	43,662	評価指標	商品券利用実績により事業効果を確認		
	概要	①コロナ禍による影響を受けている家計・村内事業者を下支えするとともに、地域における消費喚起による地域活性化を目的に全村民を対象に商品券を配布する。 ②商品券は全村民に配布。使用できる事業者は村内に事業所を構える事業者のうち、商品券の取り扱い事業者として登録した者(前回登録事業者+追加登録希望事業者)							② 郵便代	739		評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)		
①目的・効果 ②事業の対象									③ 印刷製本	623		A	【実績】全村民に1万円分の商品券を配布 換金率97%、経済効果額43,662千円 【評価】コロナ禍で影響を受けている村民の生活支援と消費拡大及び地域活性化による事業者支援に繋げることができた。		
									④						
									⑤						
事業NO	予算科目	款	7	項	1	目	5	所管課	産業振興課	実施期間	R3.6	～	R3.7	評価検証	
	事業名称	朝日村中小企業等事業継続緊急給付金給付事業							総事業費 (交付金充当額)	1,803 (1,803)	千円	検証方法	申請実績(申請率)		
16	経済対策との関係	①-Ⅱ-3. 事業継続に困って いる中小・小規模事業者等 への支援		地域未来構 想との関係	②いずれも該当しない			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① 給付金	1,803	評価指標	申請実績で効果を確認		
	概要	①前年同時期(令和元年12月～令和2年3月)に比べ著しく収入が減少(20%以上)した村内の飲食業者、宿泊業者及び観光業者の事業継続を支援するため、対象企業への給付金(1事業所当たり減収額の1/2。上限20万円) ②村内に納税をしている飲食店等を営む事業者、宿泊事業者及び観光事業者							②			評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)		
①目的・効果 ②事業の対象									③			A	【実績】給付事業者数 11件、朝日村HPやチラシ作成による事業者への周知 【評価】コロナ禍で特に大きな影響を受けている、飲食業者、宿泊業者、観光業者の事業継続の支援が図られた。		
									④						
									⑤						
事業NO	予算科目	款	10	項	4	目	5	所管課	教育委員会	実施期間	R3.6	～	R3.7	評価検証	
	事業名称	美術館感染症対策整備事業							総事業費 (交付金充当額)	479 (478)	千円	検証方法	その他		
19	経済対策との関係	①-Ⅰ-1. マスク・消毒液等 の確保		地域未来構 想との関係	①3密対策			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① 空気清浄機(3台)	479	評価指標	来館者からのクレーム件数		
	概要	①来館者の安全・安心の確保として感染対策用品を整備し感染防止を図る。 ②朝日美術館・歴史民俗資料館							②			評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)		
①目的・効果 ②事業の対象									③			A	【実績】クレーム件数0件、施設内クラスター感染の発生無し。開館日の開館時間中稼働させ感染対策を講じた。 【評価】目に見える感染対策により、来館者が鑑賞中に安心・安全な空間確保が図られた。		
									④						
									⑤						

令和3年度(令和2年度繰越含む) 新型コロナ臨時交付金事業 効果検証シート

事業NO	予算科目	款	10	項	2	目	1	所管課	教育委員会	実施期間	R3.5	～	R3.10	評価検証	
	事業名称	公共施設安全空間確保事業							総事業費 (交付金充当額)	6,600 (6,600)	千円	検証方法	感染症発生件数		
20	経済対策との関係	①-I-1. マスク・消毒液等の確保		地域未来構 想との関係	①3密対策			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① 朝日小学校抗菌施工	1,925	評価指標	施設利用継続(感染対策強化、利用者の安心・安全)		
	概要	①幼児・児童、高齢者等感染した場合に重症化リスクが高い者の施設利用が高い施設を対象に施設の抗ウイルス・抗菌対策を行い、感染対策を図る ②あさひ保育園、小学校、子育て支援センター、えべや・かたくりの里							② あさひ保育園抗菌施工	1,595	評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
	①目的・効果 ②事業の対象								③ 子育て支援センター抗菌施工	1,540	A	【実績】抗菌施工による感染予防の実施。施設内クラスター発生件数0件			
									④ かたくりの里抗菌施工	1,540		【評価】利用者の安心・安全な空間確保が図られた。			
									⑤						
事業NO	予算科目	款	2	項	1	目	1	所管課	教育委員会	実施期間	R3.5	～	R3.6	評価検証	
	事業名称	スクールバス運行安全空間確保事業							総事業費 (交付金充当額)	187 (187)	千円	検証方法	感染症発生件数		
21	経済対策との関係	①-I-1. マスク・消毒液等の確保		地域未来構 想との関係	②いずれも該当しない			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① スクールバス抗菌施工	187	評価指標	感染対策効果を確認(利用者の安心・安全)		
	概要	①小中学校生、養護学校生徒が利用する、スクールバスの抗ウイルス・抗菌対策を行い、利用時の感染防止及び安心・安全を確保する。 ②スクールバス(15人乗りハイエース)							②		評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
	①目的・効果 ②事業の対象								③		A	【実績】車内クラスター件数 0件			
									④			【評価】3密になりやすい空間ではあるが、抗菌施工により児童の安心安全の確保が図られた			
									⑤						
事業NO	予算科目	款	3	項	2	目	4	所管課	教育委員会	実施期間	R3.10	～	R3.11	評価検証	
	事業名称	子育て支援センター施設環境整備事業							総事業費 (交付金充当額)	486 (442)	千円	検証方法	感染症発生件数		
23	経済対策との関係	①-I-1. マスク・消毒液等の確保		地域未来構 想との関係	②いずれも該当しない			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① 温水器設置	397	評価指標	施設利用継続(感染対策強化、利用者の安心・安全)		
	概要	①施設内の感染予防、利用者の安心・安全を図る目的として手洗水栓の温水化による冬季の手洗励行、ロビー照明照度の向上により学習スペースを確保し3密回避を図る。 ②子育て支援センター							② 照明工事	89	評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
	①目的・効果 ②事業の対象								③		A	【実績】手洗い温水化による感染予防の実施。施設内クラスター発生件数0件			
									④			【評価】3密回避など、コロナ禍における施設環境の確保が図られた			
									⑤						
事業NO	予算科目	款	2	項	1	目	5	所管課	総務課	実施期間	R3.9	～	R4.2	評価検証	
	事業名称	公共施設等トイレ洋式化事業							総事業費 (交付金充当額)	13,090 (12,751)	千円	検証方法	感染症発生件数		
24	経済対策との関係	①-I-1. マスク・消毒液等の確保		地域未来構 想との関係	②いずれも該当しない			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)	① 工事請負費	13,090	評価指標	過去に実施した、類似の地方創生交付金事業を参考とした。		
	概要	①施設トイレを蓋のある洋式化にすることにより飛沫拡散防止を強化し、感染リスクの低減を図る。 ②消防団詰所(1)、公衆トイレ(13)、ふれあい広場管理棟(3)、キャンプ場(6)、屋外調理施設(3)							②		評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)			
	①目的・効果 ②事業の対象								③		A	【実績】トイレ洋式化 26基			
									④			【評価】不特定多数が利用するトイレを洋式化する事により、飛沫拡散防止が強化され、感染リスクの低減が図られた。			
									⑤						

令和3年度(令和2年度繰越含む) 新型コロナ臨時交付金事業 効果検証シート

事業NO	予算科目	款	7	項	1	目	3	所管課	産業振興課	実施期間	R4.1	～	R4.1	評価検証		
	25	事業名称	あさひプライムスキー場事業特別会計繰出							総事業費 (交付金充当額)	495 (495)	千円	検証方法	感染症発生件数		
経済対策との関係		①-I-1. マスク・消毒液等の確保		地域未来構 想との関係	②いずれも該当しない			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)		(その他の場合)					
概要		①あさひプライムスキー場事業特別会計に繰り出し、施設トイレを蓋のある洋式化にすることにより飛沫拡散防止を強化し、感染リスクの低減を図る。 ②あさひプライムスキー場事業特別会計							① 繰出金(工事請負費)	495	評価指標	施設内クラスター発生件数0件				
①目的・効果 ②事業の対象									②		評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)				
									③		A	【実績】トイレ洋式化1基 施設内クラスター発生件数0件				
								④		【評価】不特定多数が利用するトイレを洋式化する事により、飛沫拡散防止が強化され、感染リスクの低減が図られた。						
26	事業名称	朝日村飲食業者等事業者支援給付金給付事業							総事業費 (交付金充当額)	4,300 (3,210)	千円	検証方法	申請実績(申請率)			
	経済対策との関係	①-II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援		地域未来構 想との関係	②いずれも該当しない			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)		(その他の場合)					
	概要	①前々年同期(令和元年8月又は令和元年9月)に比べ著しく収入が減少(20%以上)した村内の飲食業者、宿泊業者及び観光業者の支援と、「信州の安心なお店認証制度」推進のための、対象企業への給付金(平成31年1月～令和元年12月の間の売上額により5段階に分けて算定) ②村内で飲食店等を営む事業者、宿泊事業者及び観光事業者							① 給付金	4,300	評価指標	申請実績で効果を確認				
	①目的・効果 ②事業の対象								②		評価区分	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)				
									③		A	【実績】給付事業者数 15件、朝日村HPやチラシ作成による事業者への周知				
								④		【評価】コロナ禍で特に大きな影響を受けている、飲食業者、宿泊業者、観光業者の事業継続の支援が図られた。						
27	事業名称	地方創生テレワーク推進交付金							総事業費 (交付金充当額)	45,000 (22,500)	千円	検証方法	その他			
	経済対策との関係	①-IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速		地域未来構 想との関係	③リビングシフト			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)		(その他の場合)	施設利用者、利用企業、移住者				
	概要	①滞在型テレワークが可能な施設を整備することで、首都圏をはじめとする都市部の企業やテレワーカーを対象とした拠点施設の整備 ②(株)タジマモーターコーポレーション、ジャパンディスカバリーセンター朝日							① 交付金	45,000	評価指標	地方創生テレワーク交付金事業のKPIIによる				
	①目的・効果 ②事業の対象								②		評価区分	成果指標: R6までに移住者10人、施設利用者のべ3,000人				
									③		A	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)				
								④		【実績】民営テレワーク施設開設 1箇所(テレワーク・サテライトオフィス・シェアキッチン等の環境が完備)の整備支援 【評価】村内に新たな働き方(リモートワーク)の拠点施設が出来たことにより、新たな人流、地域活性化につながる基盤環境が図られた。						
28	事業名称	公立学校情報機器整備費補助金 (GIGAスクールサポーター配置促進事業)							総事業費 (交付金充当額)	4,706 (2,280)	千円	検証方法	その他			
	経済対策との関係	①-I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備		地域未来構 想との関係	⑨教育			具体的な実施内容(主な上位5つ)	事業費(千円)		(その他の場合)	タブレット端末の正しい使い方の徹底を図る				
	概要	①小学校でのGIGAスクール構想の実現に向けスクールサポーターを配置することでネットワーク及びタブレット利用ガイドラインの作成や家庭用ガイドラインの作成、ICT整備計画の策定により安心安全かつ効果的なICT教育が図られる。 ②小学校							① スクールサポーター配置委託料	4,562	評価指標	学習目的で安全に利用する必要がある				
	①目的・効果 ②事業の対象								② 消耗品費	144	評価区分	ガイドラインの策定				
									③		A	実績(事業効果判断)及び評価(検証結果)				
								④		【実績】GIGAスクールサポーター配置(5月～3月)、ICT整備計画の策定、タブレット利用ガイドラインの策定等・公表 【評価】サポーター配置によりICT環境の整備を進め、学習の保障につながった。						